

一般

**平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)**

評価対象事務事業名		乳幼児健康診査事業		事業コード	1957
担当課等	所属名	玉山総合事務所 健康福祉課		担当係名	
	課長名	高橋 洋	担当者名	藤原 美穂	電話番号 4400-141

**1. 事務事業の基本情報**

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	みんなで支える子育て支援の展開	コード 6
	基本事業	母子保健・予防の推進	コード 3	関連予算 費目名	一般会計 04款01項02目 乳幼児健康診査事業(002-04)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒ (開始年度 昭和37年度～)					
事務事業の概要	乳幼児の健康の保持増進を図り、疾病や発育発達および育児環境上の問題を早期に発見し、適切な支援を行うことを目的とするともに個別および集団の方式で健康診査を行う。					
根拠法令等	母子保健法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
母子保健法のもと、市町村において乳幼児の疾病や発育発達上の問題を早期に発見し、適切な支援につなげるために開始された。当区では、昭和37年より乳児健康診査として実施している。また、平成9年からは地域保健法により3歳児健康診査が県から委譲となり市で実施する事業となっている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
平成20年度から合併後の乳幼児健診体制が一本化された。現時は周知が図られ、混乱なく実施できている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
本事業は、乳幼児の健康の保持増進のために今後も継続実施していく。						

**2. 事務事業の実施状況(Do)**

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	玉山区に居住する下記の乳幼児とその保護者 ・1～2か月児 ・3～4か月児 ・6～7か月児 ・9～10か月 ・1歳児 ・1歳6か月児 ・2歳児 ・3歳児	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 乳児期の対象者数 B. 幼児期の対象者数 C.	単位	人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・1～2か月児から1歳児健診および2歳児健診については、指定医療機関での個別健診方式 ・1歳6か月児健診・3歳児健診は集団健診 ・1歳6か月児、2歳児、3歳児健診の結果、必要時精密検査を実施し早期治療へつなげる。また、発育発達上の問題や育児環境上の支援が必要な場合、適切な支援指導を行う ・健診の周知方法は、出生時および転入者への赤ちゃん手帳の交付、広報掲載、幼児健診対象者への個人通知 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度同様に実施	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 乳児の個別健診受診数 B. 幼児の集団健診受診数 C. 幼児の精密検査受診数(集団健診)	単位	人
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	・保護者が乳幼児期の健診の必要性を理解し受診することができる ・専門スタッフの支援により、乳幼児の健康の維持および問題の早期発見が可能となる ・必要時精密検査を実施し、早期治療へつなげることができる ・保護者が乳幼児期の育児についてのポイントを理解し、安心して育児に取り組むことができる	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 健診受診率 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 B. 精密検査受診率 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 C. 乳幼児期の育児のポイントを理解し、安心して育児ができると答えた保護者の割合 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	健康が保たれる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	3歳児健康診査受診率(単位:%) 妊婦健康診査受診率(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	乳児期の対象者数	人	盛岡地区に 統合	盛岡地区に 統合	盛岡地区に 統合	盛岡地区に 統合	盛岡地区に 統合	盛岡地区に 統合	年度
対象 指標B	幼児期の対象者数	人	180	191	210	200	184	190	年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	乳児の個別健診受診数	人	盛岡地区に 統合	盛岡地区に 統合	盛岡地区に 統合	盛岡地区に 統合	盛岡地区に 統合	盛岡地区に 統合	年度
活動 指標B	幼児の集団健診受診数	人	177	182	205	201	180	185	年度
活動 指標C	幼児の精密検査受診数(集団健診)	人	7	5	10	9	10	10	年度
成果 指標A	健診受診率	%	98.3	95.3	97	100	97.8	97.4	年度
成果 指標B	精密検査受診率	%	87.5	62.5	100	64.3	100	100	年度
成果 指標C	乳幼児期の育児のポイントを理解し、安心して育児ができると答えた保護者の割合	%	-	未実施	100	88.6	100	100	年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	828	1,398	1,201	1,178	1,191	1,190	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	828	1,398	1,201	1,178	1,191	1,190	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	828	1,398	1,201	1,178	1,191	1,190	*****
	延べ業務時間数	時間	1,008	1,032	1,000	1,032	1,008	1,008	*****
	職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	4,032	4,128	4,000	4,128	4,032	4,032	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	4,860	5,526	5,201	5,306	5,223	5,222	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 乳幼児期は、発育発達の著しい時期である。この時期に定期的な健康診査を行うことは、疾病の早期発見、健康の保持増進、育児不安の解消などに効果的である。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくていいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 健診および精密検査受診率の向上
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 乳幼児の健康の保持増進と保護者の育児に対する適切な支援ができないため廃止、休止は想定できない。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 当区では、1歳6か月児および3歳児健康診査のいずれも集団健診方式で実施しているため、削減は難しい
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 限られたスタッフ(健診運営に必要な専門職)で集団健診を実施しており、現状以上の削減は事業の効率性が低下する
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 健診対象者には生年月日順に個別通知で周知している。該当月の受診が難しい場合も別日程での受診を勧め未受診にならないよう対応している。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 無料で受診できることから、公平、公正である

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること                  ・健診未受診者の追跡の徹底(発育発達の把握とともに、電話や訪問で受診勧奨を行う)                  ・疾病の早期発見と適切な対応のため、精密検査未受診者に対し受診勧奨を行う</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？                  (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)                  就園している受診児も多く受診後の母子支援には、保育園や幼稚園など関係機関との連携が必要である</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり                  :                  ② 有効性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり                  :                  ③ 効率性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり                  :                  ④ 公平性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり                  :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>乳幼児健診は、疾病や発育発達及び育児環境上の問題を早期に発見でき、健康保持の上で有効な事業であることから当該事業の継続が必要である。今後は、保育園等と連携を取り、受診勧奨をしながら未受信者の解消を図る必要がある。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3">                 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携             </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								